

実績確認概要書

平成 28 年 8 月 18 日
ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|---|
| 排出削減事業名 | 日進工業株式会社本社工場における高効率照明導入による CO2 排出削減事業 |
| 承認番号 | KC1336 |
| 排出削減事業者名 | 日進工業株式会社 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし) |
| 事業実施場所 | 日進工業株式会社本社工場 (住所：愛知県碧南市港本町 4 番地 39) |
| 事業の概要 | 本社工場の照明で使用している電力量を削減し、CO2 排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 2012 年度 11tCO2/年 (国内クレジット制度事業実施期間合計 11tCO2) 2013 年度 69tCO2 2014 年度 68tCO2 2015 年度 67tCO2 2016～2019 年度 67t-CO2/年 2020 年度 55tCO2 (J-クレジット制度事業実施期間合計 527tCO2) ※全電源 CO2 排出係数の場合 (参考値) 2012 年度 9t-CO2/年 (国内クレジット制度事業実施期間合計 9tCO2) 2013 年度 69tCO2/年 2014 年度 67tCO2/年 2015 年度 67tCO2/年 2016～2019 年度 67tCO2/年 |

| | |
|-----------------|--|
| | 2020年度 55tCO ₂ /年 (J-クレジット制度事業実施期間合計 526tCO ₂) |
| J-クレジット認証 期間 | 開始日 2013年4月1日 終了予定日 2021年1月27日 |
| 排出削減方法論 | 方法論 006「照明設備の更新」 |

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|---|
| 排出削減量 | 181tCO ₂ (2013年4月1日～2016年3月31日) |
|-------|---|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|--|
| 排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること | 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回目実績確認のため、該当なし。 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した照明設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における就業記録簿の記録、事業者への質問、現地訪問での目視等により確認した。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | 1) モニタリング方法の確認 現地訪問時の目視確認、事業者への質問、就業記録簿の記録の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、照明器具の電力原単位、照明稼働時間のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 現地訪問時の目視確認、事業者への質問、就業記録簿による稼働時間の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減 |

| | |
|---------------------------|---|
| | <p>減事業計画通り、照明稼働時間の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 電力原単位、排出係数等の係数の確認 使用されている系統電力の排出係数が、J-クレジット制度モニタリング・算定規定 Ver2.5 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。本事業のバウンダリーは照明設備のみであり、削減量の 5%以上のリーケージ排出量は存在せず、リーケージ排出量は算定外である。</p> |
| 算定期間がクレジット認証機関の終了日を超えないこと | 本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2021 年 1 月 27 日を超えないことを確認した。 |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
なし

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 82.9 kl であることを確認した。

以上